Ｒ５．４．３

令和５年度　学校経営の方針

私たちは教育のプロ
すべての子を幸せに！

当校は、昨年度創立１５０周年を迎えた歴史と伝統ある学校で、地区の中心校でもあり、その精神は今も子どもたちに脈々と受け継がれている。

学習指導要領の趣旨を踏まえ、これまでの取組のよさを継承しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改革を通して、思考力や表現力、自己肯定感を高める活動をさらに充実させ、すべての子どもが生き生きと活動し喜んで学ぶ学校づくりを目指す。

１　教育目標　　『よく学び　よく遊ぶ　たくましい子』

２　年度の重点目標

〔知育〕　かかわり合って考えを深める子
〔徳育〕　励まし合ってやりとげる子
〔体育〕　健康を考え行動する子

３　目指す学校像

⑴　子どもが生き生きと学び、自分らしさを発揮して輝く学校

笑顔 あふれる 学校
（× いっぱい）

子どもの成長や幸せを最優先に考え、個性を伸ばす学校づくりを目指す。そのために満足感や充実感を味わえるような魅力ある教育活動、夢中になって学び合う授業、個々が活躍できる場の設定などを、１人１台端末、電子黒板、デジタル教科書等のＩＣＴ機器を積極的に活用しながら、意図的・計画的に組織する。

「聴くこと」「ほめること」を大切にし、一人一人の子どもの気持ちに寄り添い、支え、励ます共感的な姿勢をもつ。また、いじめや偏見・差別はどんな理由があっても許されないこと等、善悪の判断を指導する。

全職員がすべての子どもの担任という意識をもち、日々子ども理解に努め、心の変化をきめ細かく見取り、情報を共有しながら、心のこもった教育を行う。

⑵　家庭・地域に信頼され、地域に貢献しようとする子どもを育てる学校

佐渡のことを
真剣に考える子に

保護者や地域の願いをしっかりと受け止め、誠意をもって対応する。また、広報活動を積極的に行い、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。学校の現状や課題を家庭や地域・関係機関と共有しながら、「協働」や「参画」の必要性を伝え、学校の応援団を増やしていく。

子どもは地域の宝であり、子どもが地域とかかわる活動が一層大切になる。かかわりを通して、子ども自身が地域のために何ができるのかを考えて行動することが求められている。子どもたち自身が地域にかかわる教育活動を工夫することで、「地域の学校」としての存在感を高めていく。そのために、コミュニティ･スクールの充実を図り、地域連携・地域貢献を一層進める。

⑶ 同僚性・協働性を高め、教職員がチーム河小として学び合う学校

人間力と教師力を磨いていくことがより一層求められる。年齢や経験にかかわらず、常に学ぶ姿勢をもち、個性を生かしながら、豊かな発想で学校経営に参画し、自らの力量を高めていく職員集団をつくる。

当校は、校内研修への真摯な取組を通して同僚性が高まっている。「共に学び合うチーム河小」としての連帯感や指導力を大切にし、お互いに学び合い磨き合う校風が醸成されている。その伸びが子どもの成長につながっている。同僚性・協働性を更に高め、互いの実践に学び合う姿勢を大切にして、１人１台端末等ＩＣＴ機器の活用を推進し、より質の高い教育を目指す。

○○ は何で評価されるか？

教師が変われば子どもは変わる

４　目標達成のための努力事項

⑴ 〔知育〕学び合う学習を推進し、授業改善に努め、確かな学力を育てる。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用した課題解決学習を進める。
○学ぶ意欲を高める課題づくりを充実させ、思考力・判断力・表現力を育てる。
○一人一人の理解度や特性に配慮したきめ細かな指導を行う。
○１人１台端末を中心に、ＩＣＴを活用した授業づくりを日常的に進める。
○学びのユニバーサルデザイン（ＵＤＬ）に配慮した授業を実施する。

まずいラーメン屋よりワクワク感のあるビュッフェタイプの授業を

⑵ 〔徳育〕つながり感を大切にし、思いやりと社会性を育成する。

○特別活動や道徳の指導を充実し、よさを認め励まし合う学級や集団をつくる。
○縦割り班や行事でのかかわりあいを仕組み、適切な指導・支援や賞賛に努める。
○子ども自身の主体的な活動を推進する過程で、社会規範や実践意欲を育てる。
○校内委員会やコーディネーターを活用し、交流及び共同学習の充実を図る。
○ほめる場と機会を設定し、子どもの自己肯定感を育む。

厳しいのはいい。でも冷たいのは嫌だ！

⑶ 〔体育〕生活リズムを整えるための指導を継続し、健康に対する関心を高める。

○「新しい生活様式」を徹底し、学校内外で実践できる力を身に付けさせる。
○「早寝早起き朝ご飯」を推奨し、生活リズムを整えさせる。
○メディアコントロールに取り組ませる。
○運動機会の確保に努め、運動の楽しさを味わわせながら体力増強を図る。
○健康や体力に関心をもち、自分の体を大切にしようとする意識を育てる。

本当に上手な人とは、何でもコントロールできる人

⑷ 〔その他〕夢や希望をもって自立を目指すキャリア教育の充実を図る。

○佐渡学、河原田学を充実させ、夢や希望、郷土に対する愛と誇りをもたせる。
○体験活動や創作活動など、本物に学ぶ体験を通して、豊かな感性と生きる力を育む。
○授業以外（特別活動や学校行事等）での１人１台端末の積極的な活用を図る。
○多様な価値観と触れ合う活動を通して、視野を広げ、考え方や生き方の幅を広げる。
○地域との連携、幼保小中の連携をより一層深める。

子どもは外へ！
地域の人は中へ！